

水辺教室 重信川中流

平成19年10月13日 (土)
9:30~12:30
参加者25名



9:20から受付を都市環境学習センター水槽前で開始しました。予定どおり9:30には全員が集合し、講師の紹介をしてバスに乗り込みました。魚網を持参してもらいましたが、持参した網が壊れる事を考え、都市環境学習センターの網も持って行きました。



重信川 一番泉の周辺でバスを降り、途中の水路で観察会を行いました。重信川の河川敷は河川工事があったので、水の流れが変わってしまい魚が前ほど取れなくなってしまったため最初は周辺の水路で行いました。講師の大西さんから「一番泉にはたくさん魚が棲んでいます。その魚たちが流れに乗ってこちらの水路にたくさんやってきました。がんばって捕ってみましょう。」と何故この水路で行うかの説明をしてもらい、魚捕りの開始です。



お魚を追い込みます

水深は50センチほどですが流れがあるため、幼稚園児は大変そうですが、全身濡れながら水路を歩き回っていました。魚を見つけても流れに乗って下流へ逃げていったり、上流へ逃げていったり素早い魚が多く、捕まえるのに四苦八苦していました。何人かは講師の捕り方を教えてもらい、やり方を真似てモクズガニやドンコを捕ることができました。



何匹か捕まえる事ができたので、観察ケースに入れて講師に説明をしてもらいました。今日捕まったのは「モクズガニ」「ツチガエル」「オイカワ」「カワムツ」「タカハヤ」「ドンコ」「シマドジョウ」「オオヨシノボリ」「マシジミ」「カワニナ」です。タカハヤは上流の冷たい水に棲む魚ですが、泉の周辺に流れる水は水温が低いので生息しているそうです。

次は重信川の方へ移動します。水路よりも魚が取れにくい事を説明して移動しました。



綺麗になっていて去年とは雰囲気が変わっています。大体魚がいる場所を講師から説明してもらい自由に捕ってもらうことにしました。



ヒナシドジョウ
をじっくり観察



バスに乗る時間が近くなってきたので、集合してもらい重信川で捕れた魚の説明とまとめをしました。参加者はほとんど取れなかったのですが講師やアシスタントが頑張って捕れたのが「ヒナシドジョウ」「タカハヤの稚魚」「シマヨシノボリ」でした。「ヒナシドジョウ」は2006年に追加された新種です。何匹か捕れある程度生息しているのが分かりました。

重信川では去年見られた水の流れが悪く草が茂っている場所や砂地が減ってしまい見た目はすっきりしましたが、魚を捕る場所が減ってしまったように感じました。今回もケガなく観察会を終えることができました。